

6月議会議案審議

採決結果

町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第38号	条例	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第39号	条例	和水町子育て支援基金条例の制定について	〃
議案第40号	条例	和水町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第41号	条例	和水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第42号	条例	和水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第43号	補正予算	令和5年度 和水町一般会計補正予算（第3号）	〃
議案第44号	補正予算	令和5年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第45号	補正予算	令和5年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第46号	補正予算	令和5年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第47号	補正予算	令和5年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第48号	補正予算	令和5年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第49号	補正予算	令和5年度 和水町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第50号	補正予算	令和5年度 和水町病院事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第51号	その他	字の区域の変更について	〃
報告第1号	報告	令和4年度 和水町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第2号	報告	令和4年度 株式会社菊水ロマン館の決算報告について	〃
同意第2号	人事	和水町固定資産評価員の選任について	原案同意
同意第3号	人事	和水町教育委員会委員の任命について	〃

6月定例会賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 ーは欠席

議 案		議員名	亀崎	千々岩	木原	荒木	白木	齊木	坂本	竹下	秋丸	笹淵	高木
			清貴	繁	泰代	宏太	淳	幸男	敏彦	周三	要一	賢吾	洋一郎
議案第46号	補正予算	令和5年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

■人／事／案／件■	
令和5年6月定例会において、和水町固定資産評価員、和水町教育委員会委員の選任について上程され、次のとおり同意されました。	
○和水町固定資産評価員	大山 和説（税務課長）
○和水町教育委員会委員	牧嶋 隆光さん（藤田）

令和5年度 一般会計補正予算

2,190万7千円を減額

総額 81億6,408万5千円

令和5年
6月
定例議会
報告

令和5年6月議会定例会は、6月5日から9日までの5日間の会期で開催し、議案14件（条例5件、補正予算8件、その他1件）、報告2件、人事2件が上程され、それぞれ可決、承認された。

一般会計補正予算の主なものは、物価高騰対策として町内のLPガス使用世帯に、1世帯当たり上限6千円を支援する補助金1,821万円。新型コロナワクチン接種の体制確保に1,551万円。町職員の定年延長に伴い県市町村事務負担金の減額5,583万円。

特別会計、公営企業会計では、きくすい荘土地購入費201万円、大藤取水井戸更生工事に323万円、菊水浄化センター異状通報装置取替に259万円。

きくすい荘土地購入費に対しては、反対意見もあったが、賛成多数で可決された。

また、全員協議会では、特別養護老人ホームきくすい荘の建て替えについて、3月議会以降の取り組み状況の説明が行われた。

特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業会計	19万2千円	13億4,839万円
介護保険事業会計	△188万6千円	14億6,910万5千円
特別養護老人ホーム事業会計	△1,231万4千円	5億5,026万4千円
後期高齢者医療事業会計	△67万7千円	2億339万6千円

公営企業会計補正額

会計名	補正額
簡易水道事業会計	65万円（収益的収入及び支出） 323万2千円（資本的収入及び支出）
下水道事業会計	△22万8千円（収益的収入及び支出） 258万5千円（資本的収入及び支出）
病院事業会計	△1,227万9千円（収益的収入及び支出） 514万6千円（資本的収入及び支出）

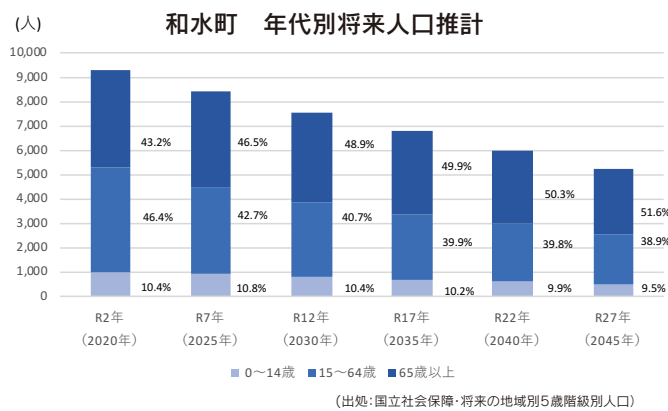


秋丸 要一議員

喫緊の最重要課題！ 生産年齢人口を増加するためには何をなすべきか！

問 高齢者人口と生産年齢人口が逆転間近となっているが、生産年齢人口の減少が今後も続けば住民の暮らしや行財政運営でどのような影響があるか。町長の認識と今後の対策について問う。

答 (町長) 令和5年3月末現在、和水町の人口構成は高齢者人口が3,965人、生産年齢人口が4,312人、年少人口が935人で合計9,212人。生産年齢人口は高齢者人口を347人上回っている状況で、これは町独自推計を6年前倒しで減少が進んでいる。労働者人口の減少により税収が減少する。高齢者人口の増加により年金や介護などの社会保障費等の増加が懸念される。医療や介護などの社会保障に関する給付と負担のバランスが崩壊する恐れがある。対策としては高齢者を支える若者世代の増加を目指し、若者世代が安心して出産や子育てができるようにして、町外の人たちが移住定住していただけるように、子育て応援の町和水町を掲げ、様々な取り組みを始めている。



問 国立社会保障人口問題研究所の最も新しい本町の将来推計人口は、今後2045年までには44%減少し約5,200人となり、2025年には高齢者人口と生産年齢人口が逆転し1人の高齢者を0.9人で支えるという逆転状況になる見込みと報告されている。町の推計では逆転現象の時期をどのように見通しているか。

答 (まちづくり課長) 平成28年時点での推計では2045年から2050年の間で逆転現象が起きる推計である。

問 子育て世代の呼び込みを推進するための根本

的な要因は企業を誘致し産業を振興することだと思うが、直近5年間で10人以上を雇用している進出企業の数と雇用者数は。

答 (まちづくり課長) 過去5年間で8社、雇用者数は、約170人ぐらいである。

問 現在の企業誘致活動の状況は。

答 (まちづくり課長) 内田工業団地の敷地を譲渡するため、公募型のプロポーザルを開始し譲渡先を探していきたい。



内田工業団地

問 プロポーザルはいつ頃の予定か。

答 (まちづくり課長) 秋以降に実施したい。

問 企業誘致は町の発展の本丸だ。専門家の力を借りて企業誘致課を新設する考えはないか。

答 (町長) 現在は担当者1人。それにサポートの形で取り組んでいる。

問 TSMC関連企業等の誘致が仮に成功すれば、住宅用地が必要となる。住宅政策について今後、新たな取り組みを考えているか。

答 (まちづくり課長) 本年度は農集センター跡地や旧南小学校前のプールの跡地などを考えている。

問 企業誘致で産業の振興、それに伴い住んでもらうための住宅政策、出生率を高めるための子育てや教育の環境整備と支援を継続的に取り組み、推進しなければその成果は期待できない。生産年齢人口減少の歯止め対策について、成し遂げたい新たな取り組みはあるか。

答 (町長) 今年度はまず、子育て政策の方に力を入れている。

問 人口減少が進めば行政区の崩壊が懸念されるが、どのような対応策を考えているか。

答 (総務課長) 行政区地区担当制度の導入で区長様との話し合い、連携を深め、人口減少や区のあり方についても取り組んでいきたい。

町の図書館について、ユニバーサルデザイン・バリアフリー化を 休日の部活動地域移行について 肥後民家村等の活性化について

問 町内に障がいのある方はどれくらいおられるか問う。

答 (教育長) 身体障がい者数は549名です。

問 中央公民館・三加和公民館の図書室を利用するにあたり、障がいのある方や車椅子等を利用されている方々にとって困難だと認識しているが改善していただけるか問う。

答 (教育長) 中央公民館、三加和公民館の図書室についても少しでも利用しやすいように検討し改善出来るよう努めていきたい。

問 図書室を含め町の公共施設のバリアフリー化について町長の意見を問う。

答 (町長) 公共施設関係の設備、施設の改修については、町の公共施設個別施設計画に基づいて進めている。バリアフリーについても行き届いていない施設もあるので今後考慮しながら進めていきたい。



中央公民館図書室

問 部活動の地域移行について、進捗状況を問う。

答 (教育長) 5月に和水町部活動検討委員会を設置し1回目の会議を行った。9月に部活動の地域移行に向けての推進計画が出来よう計画している。令和6年度から部活動の休日地域移行が出来るよう目指していきたい。

問 休日の地域移行のみではなく、平日も視野に入れた移行が出来るように取り組んでほしいが如何か。

答 (教育長) 平日の部活動移行も大事だと認識している。平日の部活動移行や新たなスポーツ・文化芸術整備も含めて検討する必要があると考えている。

問 肥後民家村周辺では古墳祭、山太郎祭、里山



千々岩 繁議員

美術展が催されているが今後の活性化に向けた取り組みについて問う。

答 (町長) 本年度は江田船山古墳発掘150年の記念する年であり、肥後民家村や菊水ロマン館、カヌーキャンプ場、道の駅きくすいなどの施設において、整備運営を官民連携の可能性を探るため調査検討を国の補助事業を活用し進めており、和水町、肥後民家村にお越しいただき、満足していただける取組を検討していきたい。



肥後民家村

問 肥後民家村をはじめ江田船山古墳公園の知名度が低いと認識している。今後、旅行代理店等を活用し修学旅行生等を呼び込んではどうか問う。

答 (まちづくり課長) 知名度不足は感じている。修学旅行、社会科見学の誘致、各自治体の教育関係にパンフレット等を送付し周知を図っていきたい。

問 修学旅行生を呼び込む観点から、三加和の手漉き和紙、八つの神様、金栗生家も含め、町内外に広く知っていただきたいと考えているが町長の見解を問う。

答 (町長) 江田船山古墳公園、田中城、金栗生家、文化の方では、手漉き和紙などがある。町の観光でもルートは作っているが、皆さんに十分認識されていない状況である。今後は民間の活力を使いながら観光施設の情報発信などを行い、沢山のお客様においていただける仕組みづくりを作っていきたい。



木原 泰代議員

和水町後期高齢者の健康状況と保健事業の取り組みについて

問 後期高齢者の健康状況について問う。

答 (町長) 加入者は、令和5年3月末現在で2,273人。令和3年度の医療費は、約21億830万円。一人当たりの医療費は、約92万5千円。平均保険料は、一人当たり約5万円。

令和3年度、医療機関を受診した方は95.8%、生活習慣病での受診は79.9%、高血圧症の方は88.3%。

問 後期高齢者の保健事業について問う。

答 (町長) 令和2年度から熊本県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、「後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」を進めている。事業内容は、高齢者の健康実態を、健診の状況、医療費分析、介護保険を分析しながら、脳卒中、高血圧、心房細動等のハイリスクを有する高齢者へ個別の保健指導、高血圧予防の啓発、集団の健康教育を実施している。

問 県や国との比較ではどうか。

答 (住民環境課長) 熊本県の一人当たりの医療費は、平均107万5千円。和水町の一人当たりの医療費は、県内45市町村のうち、高い方から36位だが、熊本県自体の医療費は高い。重篤な疾患になると医療費が高額になるので、保健事業の取り組みが肝要である。

問 後期高齢者健診の受診率は。

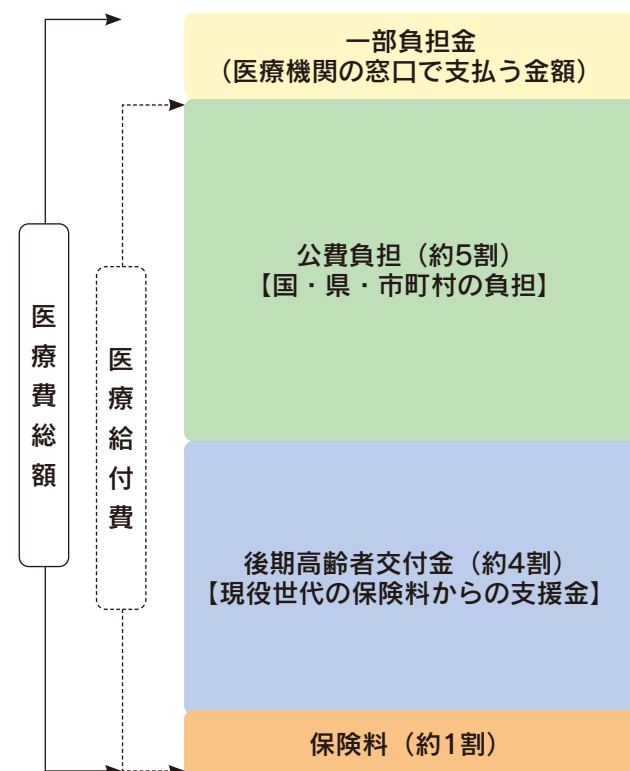
答 (住民環境課長) 令和3年度の後期高齢者の健診受診率は19.4%。効果的な保健事業を行うためにも受診率向上に向けて努力をしたい。



ワクチン接種の様子

問 町の財産でもある町民の命と健康を守る保健事業の充実に対する町長の覚悟は。

答 (町長) 今後も、各種計画に基づき、町民の皆様が長期的に健康を維持できるよう、必要な体制を確保し、指導が必要な人への専門職による保健指導を継続的に実施し、健康寿命の延伸に取り組んでいく。



その他 新型コロナウイルス感染症対策の評価について質問し、対策本部を中心に対応し、予防接種率は近隣に比べ高かった。次年度以降、予防接種料金の助成についても検討するとの答弁があった。



ワクチン接種会場

免許返納者や高齢者等が安心して暮らせるようにタクシーチケット配布の緩和と拡充を！
三加和地区にコンビニ誘致を!! 協定団体との防災訓練等の実施で防災力強化を！
三加和温泉周辺の開発について!!

問 自動車を運転できない高齢者等の移動が制約される人達の移動手段確保は、町として喫緊の課題である。現在の取組と今後の施策について問う。

答 (町長) あいのりくんの利用を勧めながら、宅配サービスの利用紹介や社会福祉協議会と連携し、食料品等を定期的に配送するサービスも行っている。

問 町では高齢者世帯や親族で運転免許証を取得しているものが町内に居住していない人達等の項目を満たした人たちを対象に、月に3千円の高齢者等外出支援タクシー利用助成事業があるが利用状況はどうであるか。

答 (福祉課長) ケアバスやあいのりくん等の利用があり現在は6名である。

問 本町は交通網が脆弱であり車が無ければ生活が出来ない人達が多数おられる。免許証の返納をしたくても出来ない人達もおられる。タクシー利用助成事業の対象範囲の緩和や拡充を図り、免許返納者や高齢者等の利用しやすい環境整備は出来ないか。

答 (福祉課長) 高齢者等の生活を支えるような制度になるよう改善していきたい。

問 三加和地区には24時間営業のコンビニエンスストアが1件も無い状況にあり、町が進めるコンビニ納付や交付、買い物を利用しようとする場合は、町外へ出ていく人たちが多く町として「コンビニ誘致」が出来ないか。

答 (まちづくり課長) 商工会と情報交換をしながら何か手立てがないか勉強していく。

問 他の自治体では庁舎の空きスペースや町有地を活用したり、企業に働きかけてコンビニ誘致を行う事例もある。また、三加和地区の子ども達に「町に何があれば良いか」と尋ねると「コンビニ」という声が多数聞かれるのがいがか。

答 (町長) 町では厳しい状況にあると思う。

問 町は様々な企業等と災害時等の連携協定を結んでいるが連携して防災訓練などの実施は出来ないのか。また、これまで行っているのか。

答 (総務課長) 3年ほどコロナの影響で全体的な防災訓練は出来ていない。協定団体は26社であり、



亀崎 清貴議員

本年度協定団体を交えて訓練を開始していきたい。

問 三加和温泉周辺で開発されている施設と山林

の整備が1年以上手付かずの状態では放置されている。このまま放置された場合特に山林については今後、大雨や地震等の災害が発生した場合非常に危険を伴うと心配されている。町としてどのように対策を講じていかれるのか。

答 (農林振興課長) 山林については県の案件となっているが、町として平成28年から県に報告している。県はこれまで2回勧告がなされ、月に1回程度現地確認がなされている。

今後は、県と連携し復旧計画書を立てていただき進めていただく。



三加和温泉

問 令和3年7月静岡県熱海市の盛土崩落により本年5月26日「盛土法」が改正された。この法律の適用範囲に該当するのか。

答 (農林振興課長) 県知事が条例を制定し2年間の猶予措置がある。今後復旧計画書を作成いただき計画次第では新法が適用されると考える。

問 周辺には温泉施設や住家が数多くあり土砂崩れ等の災害も懸念される。住民が安心して暮らせるように最大限努めていただきたい。

答 (町長) 民間事業者による開発行為ではあるが、町として注視しながら県と連携し対応する。



齊木 幸男議員

町有地の利活用は 菊水ロマン館の入浴施設は 総合グラウンドの整備は

問 消防菊水分署東側の町有地の利活用は。

答 (町長) 平成25年～26年に宅地造成が計画

された。多額の事業費と排水処理の問題などから、計画が頓挫している。今後の具体的計画は出来ていない。違った使い方も含めて検討していく。

問 南小学校跡地の工事はいつから始まるのか。

答 (町長) 去年の夏から複数回打合せを行った。コロナ禍の影響やウクライナ情勢などによる建築資材等の価格高騰と、TSMC進出による人材不足と人件費高騰により、当該事業者の経営状況が厳しいとの理由により遅れている。売買契約では所有移転から3年以内に操業を開始すると有るが、あと1年半以上猶予がある。

問 南小学校跡地の工事の説明会は。

答 (町長) 町は所有者移転済みのため、事業者より説明等が行われると認識している。しかし、現在、1年半経過しているので地元区長様等へは説明する機会を設けたいと考えている。



旧南小学校跡地

学校跡地の状況

旧学校名	状 況	町民の新規雇用	町の認識と方針
春富小	田中城ミュージアムとして活用	5名	
緑 小	民間企業が活用中	21名	
東 小	売買成立、所有権移転 操業開始	2名	事業者は一定程度の地域活性化に寄与している。 跡地活用の計画に基づき雇用をお願いしていく。
西 小	売買成立、所有権移転 操業開始	2名	
神尾小	売買成立、所有権移転 令和5年9月操業予定		
南 小	売買成立、所有権移転 ウクライナ情勢と物価高騰により操業開始未定		

学校跡地活用事業は 白石堰公園の利活用は 電子図書館の利活用

問 道の駅菊水ロマン館は、10年先30年先の長期目線としたら、観光客誘致や住民サービスの向上の為に入浴施設は必要と考える。

答 (町長) 道の駅等活性化協議会で議論した。工事費が多額。原油高騰などで温泉の継続は厳しい。

問 町民は、サウナでもよいと考えている。

答 (町長) 皆様と話して使い方を探っていく。

問 移住定住センターの銀色のバスは、和水町の移住定住のシンボル。菊水インターは一日平均5,300台、県道玉名山鹿線は一日平均17,300台、年間646万台の車が行き来する。今以上に道路から銀色のバスが見えるように工夫したら。

答 (まちづくり課長) 前向きに検討する。

問 菊池川白石堰河川公園にお花を植えては。

答 (町長) 河川事務所に提案していきたい。

問 総合グラウンドの整備計画は。

答 (教育長) 今年度は新設公衆トイレ・進入道路を整備する。2028年度に管理棟建替を計画。

問 総合グラウンドのバックネットの新設の考えは。

答 (教育長) 利用者の声を聞きながら検討する。

問 電子図書館の利用状況と利活用は。

答 (町長) 令和3年7月から玉名圏域電子図書館を導入。電子図書の利用促進に努めている。

問 電子図書館には5,374冊の蔵書が有る。これは町民の皆様のスマホやタブレットに5,374冊の本が入っているとも考えられる。再度、電子図書館をしっかりと告知・宣伝していただきたい。

答 (教育長) 町のホームページ・広報なごみ・公式LINE等で情報を発信していく。

町民総参加の生涯スポーツ推進の町、健康増進を目指そう！ 学識経験者等の選任方法について基準指針を策定し、幅広い議論を！

問 少子化対策の取り組みを問う。

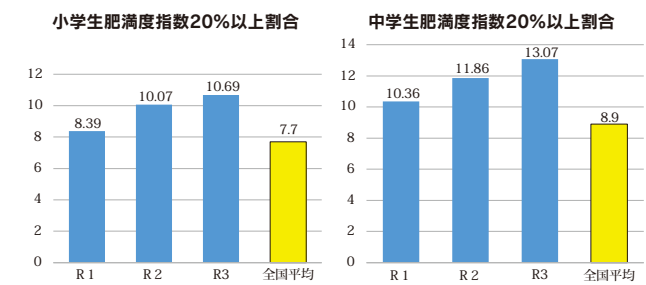
答 (町長) 子育て世帯への支援策として、結婚時の奨励金の交付のほか、出産時の出生祝い金の拡充や、小中学校の新入学時に支給する入学祝い金の新設、小中学校の給食費の無償化、保育園の副食費無償化など今年度から新たに開始した。

問 社会体育の認識について問う。

答 (教育長) 和水町の地域に合った生涯スポーツの推進を図っていくため和水町のスポーツ推進計画の策定が必要だと認識している。しかし、重要課題である地域部活動移行について検討委員会を設置し、目的や基本的な方針、取り組みなどについて検討を行っている。

問 スクールバスの導入によって歩く機会が減り、以前よりも運動する時間が減ったように感じる。子ども達の体の変化、健康状態はどうか。

答 (保健子ども課長) 小学生の肥満度指数は20%以上が肥満となる。この20%を超えている小学生の割合が令和元年度8.39%、令和2年度で10.07%、令和3年度で10.69%である。全国平均が数年間7.7%であり少し高い数値である。中学校に関しては令和元年度10.36%、令和2年度が11.86%、令和3年度は13.07%、こちらも全国平均が約8.9%なので高い数値であり肥満傾向の児童は増加傾向にある。2年に1回小学6年生の希望者を対象にした尿検査を実施している。尿の塩分濃度の基準値は6未満だが、受診者の約8割が基準値を超えている。



問 この体の変化、健康状態を受けてどう思うか。どうしなければならないか。

答 (教育長) コロナ禍であり学校も統合した。体力の状況、結果を踏まえながら各学校で体育の授業



荒木 宏太議員

を充実している。学校によっては朝のランニングタイムなど体力を高める努力をしている。

問 私が理想とするのは町民総参加の生涯スポーツ推進の町である。金栗先生の出身地であるので社会体育推進に力を入れていただきたい。以前、町民運動会が開催されていたと思うが今後は開催されるのか。

答 (社会教育課長) 以前から町民運動会の在り方について協議し検討してきた。今年度から運動会をなくして、みんなでスポーツを楽しみ参加しやすい競技大会の開催を計画している。



スカイドームでの運動の様子

問 条例と法令遵守について、協議会や附属機関等の委員会における審査員や学識経験者といった選任方法を問う。

答 (町長) 協議会等の運営審議に際し、最適な委員として選任している。現状では委員選任方法について、具体的に定めていないが協議会の会議の透明性や公平性の向上を図るため、他団体の状況などを調査研究し、委員選任に関する基準指針等を策定することも必要である。

問 以前、国際交流として執行部と議員で台湾へ行ったがその際の科目は総務費、国際交流費であった。なぜ総務費と議会費に科目を分けなかったか。

答 (総務課長) 国際交流は総務費の中で予算執行をしている。その中で議員の出張旅費については費用弁償、職員の旅費については普通旅費として区分けをして予算執行している。



坂本 敏彦議員

文化、観光について 道路改良について

問 江田船山古墳発掘150周年を迎えるにあたり、記念行事等の考えがあるか問う。

答 (町長) 江田船山古墳は明治6年、1873年に発掘され数多くの貴重な副葬品が出土している。出土品は国が買い上げ、昭和40年に国宝に指定された。本年度、江田船山古墳発掘150周年を記念し様々な事業を計画している。町の歴史を学び知ること、文化財保護活用を図り、地域活性化につなげていきたい。

答 (教育長) 江田船山古墳発掘150年の節目に江田船山古墳の価値や魅力を再認識していただき、ひいては、多くの交流促進につながる機会として、記念行事を行う予定。内容は、記念シンポジウムの開催、江田船山古墳PR動画の作成と配信記念ノベルティの製作及び配布、現地説明会の開催等を計画している。

問 江田船山古墳一体の整備を行う考えがあるか問う。

答 (町長) まずは、道の駅きくすいの敷地の一部を利用した公園整備を現在検討している。三加和温泉周辺の公園整備とあわせて、令和6年に着手できるよう進めていく。

問 金栗四三生家の今後の利活用について問う。

答 (町長) 金栗四三氏の功績を顕彰し、名誉町民であられる金栗四三氏の生まれ育った生家を、できるだけありのままの生家と里山の現風景を地域とともに保存活用し、生家を核とした地域活性化を図っていききたい。



生家外観

青少年育成について

問 江田船山古墳発掘150周年を迎えるにあたり、東京国立博物館への修学旅行を行う考えがあるか問う。

答 (町長) 東京国立博物館を訪問時に江田船山古墳関連の展示品をみて感動した。中学校で行先については最終決定されるが、費用負担の援助については前向きに検討する。

答 (教育長) 学校としても、和水町の宝が国立博物館に飾られているところを子ども達に見学させることはとても意義があると伺っている。学校と意見交換しながら進めていく。

問 県道6号玉名立花線、内田から久井原区間の改良工事について問う。

答 (建設課長) 玉名立花線については、地域の皆様と要望を行っている。詳細設計が出来上がり次第説明会を行うと県からも伺っている。早期着工に向けて進めていきたい。

答 (町長) 玉名立花線の交通量の増加は聞いており沿線住民の皆様には大変ご不便をおかけしている状況であると認識している。TSMC関連での増加も考えられるので、引き続き国・県に強く要望を続けていきたい。



旧西小学校前朝の洪水の様子



冠帽(東博)

- ・減少する農業後継者 経営が成り立つ支援を
- ・ふるさと納税返礼品は農家の所得向上と結び付けて
- ・平成27年度の介護報酬改定率マイナス 人件費に影響
- ・春富財産区木材を使い図書館の建設を

問 和水町合併後の町内新規就農者数と新規就農者助成金受給者で離農者数は。

答 (町長) 平成18年度から令和4年度まで17年間で新規就農者数は56人、新規就農者対策助成金の受給者で離農者は把握しているのは5名。その内町の助成金の返還者は2名。定着率は91%。

問 農林水産省発表の全国新規就農者数(49歳以下)は2015年の約23,000人から21年には18,420人になり6年間で29%減少。新規就農者は農家の後継ぎ、法人等に就職した雇用労働者、農家出身でない参入者と3つに分けられ2015年に農家の後継者は全体の54%から21年には39%にまで落ち込み法人雇用労働者が多くなっている。和水町は今後どうなるのか。JA玉名が次世代総点検アンケートを行い三加和総合支所はアンケートに答えた258戸中「農業後継者がいる」は31戸、13%。菊水総合支所は307戸中29戸、11%。農業経営は所得が低く後継者が育たず農産物の価格保障がなければ続けられない。農水省に全国認定農業者協議会会長と役員3名は4月に「再生産可能となる適切な購入価格で購入することが農業を支え食料の安全保障にも直結する」と申入れている。町長も国県に要請を。

答 (町長) 日本農業をこれからどう考えていくのか国県に話をしていきたい。町としては農家経営の安定や所得向上に向けて何らかの施策を打っていきたい。

問 ふるさと納税返礼品の内容は。

答 (町長) 返礼品は全部で318品目、種類別は1位肉類113品、2位野菜果物74品、3位米パン60品。返礼品をいかに選んでいただけるか、町農畜産物を返礼品として充実させることが重要である。

問 全国の地方自治体の中には地場産返礼品が足りなくなり他市町村から仕入れる偽装が行われていた。町民から本町は大丈夫かとの声があるがどんな状況か。

答 (まちづくり課長) 中間業者に委託し新規返礼品があれば町の方に報告と申請があり、その内容を町で確認して認めている。



ふるさと納税返礼品

問 返礼品については多くの農家は知らされていない。認定農業者や若い人にも詳しく説明し所得向上にもつなげるべきで、業者と力を合わせて説明会を。

答 (まちづくり課長) 農産物の返礼品を充実させるためには、農家さんのお力添えがどうしても必要だと感じている。積極的に推進していきたい。

問 特別養護老人ホーム建設の今後の方針は。

答 (町長) 説明は民生委員会、老人会、区長会、婦人会等7団体行い参加者は合計221人。サウンディング型市場調査を実施し民間6事業者と意見交換を行い現時点で社会福祉法人からの民設民営の希望はない。

問 人材確保が一番の問題。民生委員会の説明で「民間になって職員の給与が下がれば職員は納得しないのではないか」、老人会では「職員は職を失うことになるが、その辺りの手当は考えているのか」との声があるが介護職の皆さんがきちんと人生設計が立てられることが一番大事であり6事業者からも「人手不足、人材確保が大事で町職員が残ってくれるか心配だ」との声がある。人件費が下がる根源は平成27年度の介護報酬改定率がマイナス2.27になったこと。きくすい荘は町一般会計から繰り出して給与を保障している。当然のことだと思うがどう受け止めているか。

答 (特養施設長) 言われる通り、平成27年度の介護報酬改定は非常に大きな影響を受けていると認識している。

問 子どもから大人まで学べるスペースのある図書館建設の検討を。

答 (町長) 図書館の必要性は十分承知しているが町の財政事情等を考慮して施設の複合化、統一化を視野に入れたところで検討すべきだと思う。

問 温泉センターとロマン館に公園の建設が検討されているが、ここに春富財産区の木材を使い図書館を建設してはどうか。

答 (町長) もし建設することになったとしたら春富財産区の木材というのは凄い、素晴らしいアイデアだと思う。木の柔らかさ温かさというのは大変伝わってくるので参考として伺っております。



笹淵 賢吾議員